

令和2年5月26日

グループ職員 各位

【名誉会長通達 2020-10】  
鳳凰会グループ 名誉会長

## 新型コロナウイルス感染症 緊急事態宣言解除後における行動の再徹底について

業務お疲れ様です。

緊急事態宣言解除で気が緩むことは、職員各位にはないと思いますが、改めてお願い致します。

医療人、介護人としての職員の皆様に改めて言うまでもなく、緊急事態宣言が解除されたとはいえ、コロナウイルスがいなくなった訳では有りません。

会長通達にあったように、何処にウイルスが潜んでいるかわからず、ワクチンができるまで新型コロナ禍は収束しません。

ましてや、医療施設や介護施設で集団発生など起こしてはなりません。

会長通達どおり、ワクチンができ、新型コロナ禍が収束するまで、サージカルマスク＋フェイスシールド(又はゴーグル)は勤務上の標準装備ということは忘れずに着用をして業務を行って下さい。

また、今入院や入所している方は新型コロナに感染していません。

新規の入院、入所の方か、職員が持ち込まない限り、新型コロナの院内や施設内の感染の可能性はかなり低いです。

新規の入院や入所の方の扱いに注意をすると共に、職員各位も自分が感染しないよう日常の行動も十分に留意するようにして下さい。

職員各位にあっては、多人数の飲み会や食事会等の参加は基本的に是非止めていただきたい。パチンコ、居酒屋など3密の場所は当たり前近くに近寄らず、3密でなくても1密でも十分に新型コロナにかかる可能性が高いことを理解して行動をして下さい。

今、本部は、第2波、第3波に備え、備品の調達に入っています。

しかし、N95 マスク等や数種類の薬は今だ、国の管理下にあり、手に入りません。

この事実は、国が新型コロナ禍が終わっていないと考えていることを意味しています。

私も、新型コロナ禍はまだ収束していないと思っていますし、必ず第2波、第3波もあると考えます。

早ければ6月末から7月に小さい感染の山があり、秋冬に向けてインフルエンザ流行の前後に新型コロナの流行が来るのでは、と懸念しています。

改めて申し上げます。

新型コロナ禍は、ワクチンが出来上がるまで収束しません。

さらに加えれば、全てのワクチンがそうであるように、仮に新型コロナワクチンが出来ても100%効くものではありません。

子供の欲しい女性は、卵巣への副作用の少ない薬ができるまで、新型コロナのワクチンが出来たとしても収束しません。

アビガンは催奇形、精子異常は副作用として分かっていますが、中長期的な卵巣に関してはデータがなく、最悪はアビガンを服用したら中長期的に催奇形が起こるかも知れません。

また、新型コロナの感染者で治った方の10%以上に、心臓、肝臓、血管系疾患、腎臓、呼吸機能に何らかの障害が残っています。年齢は関係していません。

SARS はさらに高コレステロール血症も後遺症として認めています。

新型コロナはいわば SARS II ですから同じく高コレステロール血症も後遺症となりかねません。

ですから、まず、新型コロナにかからないこと、また人に移さないことが絶対に必要です。

夏になり暑いのはわかりますが、**必ず、サージカル+フェイスシールド(又はゴーグル)の標準装備をして、自己防衛と他人への感染予防を念頭に、医療介護業務を行うよう、お願い致します。**

新型コロナ禍はまだまだ終わらないことを、改めて自覚して、職員各位は、行動をして下さい。よろしくお願いいたします。

以上